

長崎大学経済学部

学術・研究活動及び学外活動報告

平成25年度

井田 洋子

[学術・研究活動]

<判例研究>

・「裁判所の独立」(単)『フランスの憲法判例』, 2013年4月

<その他>

・『高校政治・経済』教授用指導書』(共), 2014年3月

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

・九州法学会 理事会の理事 2年

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎県コンプライアンス委員会 委員 2013年7月~2015年6月

・長崎県固定資産評価審議会 委員 2012年4月~2014年3月

・長崎県個人情報審議会 委員 2012年1月~2014年1月

・長崎市職員分限懲戒審査会 委員 2013年4月~2015年3月

・長崎市政治倫理審査会 委員 2013年4月~2015年3月

・長崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会 2013年4月~2015年3月

・長崎市退職手当審査委員会 委員 2014年9月~2016年9月

・長崎弁護士会綱紀委員会 委員 2014年3月~2016年2月

<公開講座・市民講座>

・『高大連携による高校生公開講座』「法律学」, 2013年8月8日, 長崎大学経済学部。

・『我が国のグローバル人材育成における大学の使命: 経済学部の取り組み』「短期海外研修(イタリア)」, 2013年6月22日, 長崎大学経済学部。

岩田 安晴

[学術・研究活動]

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

・「Two Fiscal Policy Puzzles Revisited: New Evidence and an Explanation」, 経済統計ワークショップ, 2013年5月24日, 一橋大学。

・「Time-Varying Effects of Government Spending Shocks in the Post-War U.S.」, 国際コンファレンス “Econometrics for Macroeconomics and Finance”, 2014年3月16日, 一橋大学。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・内閣府経済社会総合研究所, 客員主任研究官, 2013年4月~2014年3月。

大内 和直

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

長崎県個人情報保護審査会, 委員, 平成25年10月~平成27年3月

長崎県情報公開審査会, 会長, 平成25年1月~平成27年1月

長崎県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会，委員，平成25年6月～平成27年3月
長崎県弁護士会綱紀委員会，予備委員，平成24年4月～平成26年3月

大倉 真人

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ Ohkita Kenichi and Okura Mahito, "Coopetition and Coordinated Investment: Protecting Japanese Video Games' Intellectual Property Rights," *International Journal of Business Environment*, Volume 6, Number 1, pp.92-105, 2014.

<ワーキング・ペーパー>

- ・ Okura Mahito, "The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good?" Discussion Paper 2013-04, Faculty of Economics, Nagasaki University, May 2013.
- ・ Okura Mahito, Nozaki Hiroyuki, and Iwase Kenta, "Observations on the Segmentation of Earthquake Insurance in Japan," Discussion Paper 2013-05, Faculty of Economics, Nagasaki University, June 2013.
- ・ Okura Mahito, "The Value of Demand Information in an Insurance Market under Demand and Cost Uncertainty," Discussion Paper 2013-07, Faculty of Economics, Nagasaki University, October 2013.
- ・ Okura Mahito and Yanase Noriyoshi, "New Challenge to Broaden Undergraduate Education for RMI in Japan: Effective Use of Seminar Classes on a Nationwide Scale," Discussion Paper 2013-09, Faculty of Economics, Nagasaki University, October 2013.
- ・ Okura Mahito and Nemoto Atsushi, "A Comparative Analysis of Cooperative and Business Insurers in the Japanese Insurance Market," Discussion Paper 2013-11, Faculty of Economics, Nagasaki University, November 2013.
- ・ 大倉真人「太陽光発電における保険の利用可能性」『長崎大学経済学部ディスカッションペーパー』2014-01, 2014年1月。
- ・ Okura Mahito, "Does Competition Really Promote Risk Management?," Discussion Paper 2014-02, Faculty of Economics, Nagasaki University, January 2014.

<科研費（採択のみ）>

- ・ 「保険業におけるマーケティングの経済分析」(若手研究B)(研究期間：2012年度～2014年度)(単独)

<外部競争的資金（採択のみ）>

- ・ 「保険と共催の競争構造に関する経済分析」(共同)『財団法人かんぽ財団平成25年度調査研究助成』(研究期間：2013年7月～2014年6月)

<学術賞の受賞>

- ・ 第3回日本保険学会賞（論文の部），2013年10月（単独）

<学会発表>

- ・ 大倉真人 "The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good?" 『保険および金融についての研究ワークショップ』, 一橋大学千代田キャンパス学術総合センター, 2013年4月。
- ・ Okura Mahito, Nozaki Hiroyuki, and Iwase Kenta, "Observations on the Segmentation of Earthquake Insurance in Japan," 2013 Asia-Pacific Risk and Insurance Association Annual Conference, St. John's University (United States), July 2013.
- ・ Okura Mahito, "The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good?" 2013 Asia-Pacific Risk and Insurance Association Annual Conference, St. John's University (United States), July 2013.
- ・ 大倉真人 "The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good?" 『日本金融学会2013年度秋季大会』名古屋大学, 2013年9月。
- ・ 大倉真人 "Does Competition Really Promote Risk Management?" 『保険および金融についての研究ワー

クシヨップ』, 早稲田大学, 2014年 2月。

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・ *Business Systems Review*: Associate Editor & Reviewer
- ・ *European Journal of Operational Research, International Studies of Management and Organization, Managerial Finance, British Journal of Economics, Management & Trade, Canadian Journal of Development Studies*: Reviewer

< 学会などにおける委員としての活動 >

- ・ 日本保険学会: 評議員 (2008年10月より現在に至る)
- ・ 日本保険学会: ホームページ委員会委員 (2009年 3月より現在に至る)
- ・ 日本保険学会: 国際交流委員会委員 (2012年12月より現在に至る)
- ・ Asia-Pacific Risk and Insurance Association: Board of Governor (2010年 8月から2013年 7月)
- ・ Business Systems Laboratory (non profit association): Scientific Board Member (2012年 1月より現在に至る)

< 国際交流への貢献 (各種イベント等での貢献) >

- ・ “Japanese Public Pension Plan”, 「日本と長崎の経済・経営・文化に関する教育プログラム」内における「Japanese Economy and Management III」の講義担当 (韓国からの留学生に対して講義), 2013年 8月29日。
- ・ “Japanese Public Pension Plan”, 「日本と長崎の経済・経営・文化に関する教育プログラム」内における「Japanese Economy and Management III」の講義担当 (アメリカからの留学生に対して講義), 2013年 9月12日。

< 公開講座・市民講座 >

- ・ 「経済学 (部) とは?」 & 「社会保障と少子高齢化社会」(出前講義), 長崎県立壱岐高等学校, 2013年 6月29日。
- ・ 「日本の公的年金制度について」(茶の間の経済学), 長崎市北公民館, 2013年11月 2日。

庵谷 治男

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・ 「ロアーレベルにおける利益目標の管理 - コントロール・レバーに基づくシティホテルK社のケース・スタディ - 」(単)『原価計算研究』第37巻, 第2号, 135-147頁, 2013年 3月。
- ・ 「制度論的パースペクティブに基づく管理会計研究の可能性」(単)『早稲田商学』第438号, 2014年 3月。

< 科研費 (採択のみ) >

- ・ 「マネジメント・コントロール・システムの動態的变化に関する研究」若手B (単) 2013~2015年。

< 学会発表 >

- ・ “The Design and Use of Management Control Systems at Lower Level: Based on the Management of Profit Target in Japanese Hotel”(単) European Network for Research in Organizational and Accounting Change (ENROAC) 2013, June 6th, Jyväskylä, Finland.
- ・ “The Design and Use of Management Control Systems at Lower Level: Based on the Case Study of Japanese Hotel”(単) The 9th International Management Control Association Conference, September 5th, Nyenrode Business University, Netherland.

岡田 裕正

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・ 『入門テキスト商業簿記』(共), 中央経済社, 2014年 3月。

[学外活動]

- < 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >
- ・財務行政モニター, 2009年4月~2014年3月。
- < 国際交流への貢献(各種イベント等での貢献) >
- ・The 9th International Conference on Asian Financial Markets and Economic Development, 事務局, 2013年12月, アクロス福岡。
- < 公開講座・市民講座 >
- ・『高校生公開講座 社会科学入門』, 『経済学部のグローバル化』, 2013年8月6日, 経済学部。

小野 哲

[学外活動]

- < 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >
- ・日本会計学研究会九州部会幹事

小野 康子

[学術・研究活動]

- < 学会発表 >
- ・『Transition of Policy on Community-Based Schools in Pakistan from 2000 to 2009』(単), 国際開発学会, 2013年11月30日, 大阪大学。

勝又 壮太郎

[学術・研究活動]

- < 著書 >
- 1. 勝又壮太郎, 一小路武安(2013)「コンテンツ産業における消費者の生産活動」河島伸子, 生稲史彦編『変貌する日本のコンテンツ産業』, 第7章, pp.185-215.
- < 論文 >
- 1. 勝又壮太郎, 高橋一樹, 本橋永至, 石丸小也香, 西本章宏, 鈴木暁, 河原達也(2014)「タレント属性のテレビ広告効果測定: タレントイメージと製品カテゴリーとの適合関係分析」『オペレーションズ・リサーチ』, 59(1), 42-51.
- 2. Ichikohji, T., and Katsumata, S. (2013) The Relationship between Innovation and Consumption of Internet Users, *Annals of Business Administrative Science*.
- 3. 若林隆久, 勝又壮太郎(2013)「戦略的提携ネットワークの形成要因: 産業要因か, 企業要因か, ネットワーク要因か」『組織科学』, 47(1), 69-79.
- < ワーキング・ペーパー >
- 1. Katsumata, S., and Ichikohji, T. (2014) The Growth of End User Innovators and Changing Precedent Factors: A Case Study of the Comics Industry, *Faculty of Economics, Nagasaki University Discussion Paper Series, 2014-01*.
- 2. 勝又壮太郎, 高橋一樹, 本橋永至, 石丸小也香, 西本章宏, 鈴木暁, 河原達也(2013)「テレビCM成果へのタレント貢献度の測定: タレントイメージと製品カテゴリーとの適合関係分析」長崎大学経済学部ディスカッションペーパーシリーズ, 2013-03.
- < 科研費(採択のみ) >
- 1. 平成25年度~平成26年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)「顧客関係管理への消費者行動理論の活用」
- < 外部競争的資金(採択のみ) >
- 2. 平成24年度~平成25年度 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団 研究助成「消費者の製品カテゴリーイゼーションを起点とする市場構造分析 競争市場構造におけるマーケティング・コミュニケーション

戦略」(代表, 共同研究者: 西本章宏)

<学会発表>

1. 一小路武安, 勝又壮太郎(2014)「新製品の情報源から見るゲームユーザーのセグメンテーション」日本デジタルゲーム学会2013年度年次大会, はこだて未来大学.
2. 勝又壮太郎, 若林隆久(2013)「 」日本マーケティング・サイエンス学会第94会研究大会, 東京: 電通ホール.
3. 西本章宏, 勝又壮太郎(2013)「 」日本マーケティング・サイエンス学会第94会研究大会, 東京: 電通ホール.
4. 勝又壮太郎, 西本章宏(2013)「マーケティング競争のコンテキスト効果を包含した市場構造分析: 脱コモディティ化のためのマーケティング・コミュニケーション戦略」日本消費者行動研究学会 第47回コンファレンス, 法政大学. 2013年10月26日
5. 西本章宏, 勝又壮太郎(2013)「マーケティング競争のコンテキスト効果: 消費者知識の異質性を考慮した脱コモディティ化戦略」日本消費者行動研究学会 第47回コンファレンス, 法政大学. 2013年10月26日
6. Katsumata, S., Abe, M., and Nishimoto, A. (2013) The Experiential Set Choice Model Based on a Heterogeneous Knowledge Structure of Consumers, *INFORMS Marketing Science Conference, Turkey: Özyeğin University.*
7. 高橋一樹, 勝又壮太郎, 本橋永至, 西本章宏, 石丸小也香, 鈴木暁, 河原達也(2013)「製品カテゴリーに対するタレント特性の影響を考慮した広告効果分析」日本消費者行動研究学会第46回消費者行動研究コンファレンス, 名古屋市立大学. 2013年6月2日
8. 勝又壮太郎, 一小路武安(2013)「市場を生み出すコンテンツ創造活動の動機と能力」日本消費者行動研究学会第46回消費者行動研究コンファレンス, 名古屋市立大学. 2013年6月2日
9. 西本章宏, 勝又壮太郎(2013)「消費者知識構造の異質性を考慮した製品カテゴリー化」日本消費者行動研究学会第46回消費者行動研究コンファレンス, 名古屋市立大学. 2013年6月1日

工藤 健

[学術・研究活動]

<科研費(採択のみ)>

- ・「不完全情報, 限定合理性と経済政策効果: 複眼的アプローチによる検証」(単), 平成25~28年度.

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『わが国のグローバル人材育成における大学の使命 - 経済学部の取り組み』, 「第2回 短期海外研修の取り組み - 平成24年度アメリカ研修の活動を通じて得たもの」, 平成25年6月15日, 長崎大学経済学部.

後藤 祐一

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『戦略的協働の経営』(単著) 白桃書房, 2013年4月.

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『高大連携事業』「リーダーシップについて考えてみよう」2013年6月29日, 長崎県立上五島高等学校.

小山 久美子

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「貿易自由化の進展と食品安全事項の国際的調和化」『アメリカ経済史研究』第12号, 2013年12月, 25

～47頁

< 科研費（採択のみ） >

・「社会政策的視点からみた米国貿易政策史」2011～2013年度

< 学会発表 >

- ・「貿易自由化の進展と食品安全基準の国際的調和化」アメリカ経済史学会例会，2013年6月15日（静岡大学）
- ・「アメリカ貿易政策史 - 貿易障壁としての食品安全基準に焦点をあてて - 」第47回アメリカ学会年次大会，2013年6月1日（東京外国語大学）

笹川 篤史

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・「住居の所有関係別にみた消費税負担に関する考察」(単)，『経営と経済』，第93巻第1・2号，2013年9月。
- ・「租税・財政学分野へのPBL活用について」(単)，『経営と経済』，第93巻第1・2号，2013年9月。
- ・「インボイス方式に関する論点についての考察」(単)，『経営と経済』，第93巻第3号，2013年12月。
- ・「軽減税率による逆進性緩和の最適解とその分析」(共)，『経営と経済』，第93巻第4号，2014年3月。
- ・「IFRS導入に伴う法人税法上の対応に関する考察」(単)，『東南アジア研究年報』，第55集，2014年3月。

< 外部競争的資金（採択のみ） >

- ・「IFRS導入に伴う法人税法上の対応に関する考察」(単)，『財政・金融・金融法制研究基金研究助成金(イ)』，2013年4月～2014年3月。

< 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） >

- ・「租税政策上の論点等について」(単)，2013年度第8回 長崎大学経済学部ファカルティセミナー，2013年12月5日，長崎大学。

< 学術賞の受賞 >

- ・第22回租税資料館賞（論文の部），「住居の所有関係別にみた消費税負担に関する考察」(単)，公益財団法人租税資料館，2013年11月28日。

< 学会発表 >

- ・「経済学における最適化の一事例：軽減税率における逆進性緩和策」(共)，電気学会C部門システム研究会，2013年11月23日，愛知県立大学サテライトキャンパス。

式見 雅代

[学術・研究活動]

< ワーキング・ペーパー >

- ・Shikimi, Masayo, and Katsumi Matuura (2013) "Target Behavior and Lumpy Investments", *Faculty of Economics, Nagasaki University Discussion Paper Series*, 2013-10, October, 2013, 共著.
- ・Shikimi, Masayo (2013) "Financing Decisions and Asymmetry in Target Behavior", *Faculty of Economics, Nagasaki University Discussion Paper Series*, 2013-08, October, 2013, 単著.
- ・Shikimi, Masayo (2013) "The Effect of Bank Competition on Firm Entry, Growth, and Exit: Evidence from Japanese Industry Data", *Faculty of Economics, Nagasaki University Discussion Paper Series*, 2013-06, October, 2013, 単著.

< 科研費（採択のみ） >

- ・「企業の創出・成長と地域金融市場競争 - ミクロデータによる分析」(単)，平成23年度～平成25年度

< 学会発表 >

- ・Shikimi, Masayo (2013) "Structure of Bank Loan Debt: Evidence from Newly Listed Firms in Japan", *The 5th International Finance and Banking Society Annual Conference*, June 26, 2013, Nottingham,

United Kingdom, 単著.

- ・ Shikimi, Masayo (2013) “ Structure of Bank Loan Debt: Evidence from Newly Listed Firms in Japan ”, 日本金融学会春季大会, 2013年5月25日, 一橋大学, 単著.
- ・ Shikimi, Masayo, and Katsumi Matuura (2013) “ Target Behavior and Lumpy Investments ”, *The 9th International Conference on Asian Financial Markets and Economic Development, Nagasaki University, ACROS Fukuoka*, December 7, 2013, 共著.

穴倉 学

[学外活動]

- < 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >
- ・ 長崎ケーブルメディア番組審議委員 2013年4月～2014年3月
- ・ 総務省情報通信政策研究所客員研究官 2013年4月～2014年3月
- ・ 長崎市建築審査会委員 2013年7月～2015年6月

柴多 一雄

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・ 『新修福岡市史 特別編 福岡城』(編著), 福岡市, 2013年3月。
- < 辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等) >
- ・ 「黒田二十四騎と八虎」, 『黒田官兵衛歴史読本』, 2013年12月。

[学外活動]

- < 学会などにおける委員としての活動 >
- ・ 社会経済史学会評議員 平成25年4月～平成27年3月。
- < 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >
- ・ 福岡市文化財保護審議会委員 平成24年5月24日～平成26年5月23日。
- ・ 福岡市史編さん委員会編集委員 平成25年4月1日～平成27年3月31日。
- < 講演会(社会的要請に基づく) >
- ・ 『ふるさと歴史講座』, 「黒田如水・長政とその時代」, 平成25年8月24日, 柳川市立大和公民館。

島田 章

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・ “ Does Migration Encourage Human Capital Formation in Labor-Sending Country? ”(単著), *Journal of Economic Integration*, vol.28, no.4, pp.631-648, December 2013.
- ・ “ Wage Inequality and Human Capital Formation under Migration Possibilities ”(単著), *Australian Economic Papers*, vol.52, issue 3-4, pp.190-201, December 2013.
- < 学会発表 >
- ・ “ Parental Migration, Unpaid Child Labour, and Human Capital Formation ”(単独), The Forth Annual Conference on the Social Sciences of the International Academic Forum ,(Acss 2013) 2013年6月9日, ラマダホテル, 大阪.
- ・ “ Parental Migration, Unpaid Child Labour, and Human Capital Formation ”(単独), The Twelfth Annual Conference of the *European Economics and Finance Society*, 2013年6月22日, Westin Grand Hotel Berlin, Berlin, Germany.
- ・ “ Parental Migration, Family Migration, and Human Capital Formation ”(単独), The Twelfth International Conference of the *Japan Economic Policy Association*, 2013年10月26日, 札幌大学.

< 科研費（採択のみ） >

- ・「国際労働移動の総合的理論分析」基盤研究(C)（単独），平成22年度から平成26年度まで。

徐 陽

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・『入門テキスト商業簿記』（共著），中央経済社，2014年4月1日。

白水 桂子

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・ A Brief Account of the Function of the Utterance-final Particle ba.（単）*Journal of Language and Literature Studies*, 2013 No.5 (Sum No.439) May 25, 2013.
- ・「文末の『みたいな』の語用論的效果」（単）『QUEST』木下浩利先生追悼特別号，2013年7月12日。

< 学会発表 >

- ・「日英語の広告における言語表現の比較」（単）国際ビジネスコミュニケーション学会九州山口支部，2013年8月24日，久留米大学福岡サテライト。

薛 軍

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・『習近平時代の中国人民元がわかる本』（共著，近代セールス社，2013年9月）
- ・ Chief Editor, *Economic Growth and Middle Income Trap: An international comparative research based on field survey*, Nagasaki University Southeast Asian Studies Series, 2014.3

< 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） >

- ・「台日企業の戦略アライアンスによる内需市場開拓：現地化戦略と挑戦」，Forum for China's Regional Economic Development & Governance（台湾国立政治大学），2013年6月17日

谷口 眞司

[学外活動]

< 国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員 >

- ・長崎税関審査委員会，通関業者の監督処分に対する意見陳述，平成25年9月2日～平成25年9月30日

< 公開講座・市民講座 >

- ・市民講座茶の間の経済学「日本型シニア社会を考える」，平成25年10月26日（土），長崎市北公民館

張 笑男

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・張笑男「中国における独立取締役制度の現状と今後の動向」藤田勝利先生古稀記念論文集『グローバル化の中の会社法改正』（法律文化社，2014年）

< 翻訳 >

- ・高橋英治（張笑男訳）「日本公司治理改革の历史和課題」（公司治理変革与公司法的現代化学術検討会论文集，2013年）

土橋 力也

[学術・研究活動]

<ワーキング・ペーパー>

- ・“ A Systematic Assessment of First-Mover Advantages, ” (with Tomomi Hamada) , Discussion Paper , 2014-3 . Faculty of Economics, Nagasaki University, March 2014 .

<学会発表>

- ・「先行者の利益再考」, 単著, 日本経営学会第87回全国大会, 2013年9月7日, 関西学院大学。

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『高大連携事業：出張講義』「経済学・経営学とはなにか」, 2013年6月8日, 長崎県立猶興館高校。

津留崎 和義

[学術・研究活動]

<外部競争的資金（採択のみ）>

- ・「大型受注品型モノづくりにおける生産性向上に関する研究」(共), 三菱重工業株式会社との共同研究。
- ・「生産性意識の見える化システム構築のための企画, 調査, 分析」(共), 北九州産業学術推進機構との共同研究。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会, 九州支部事務局。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市営住宅審議会, 委員。

<公開講座・市民講座>

- ・『高大連携事業』, 「Innovative Thinking」, 2013年7月10日, 長崎県立宇久高等学校。
- ・『高校生公開講座』, 「そうだ！お金儲けでもするか!？」, 2013年8月6日, 長崎大学経済学部。

成田 真樹子

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・“ Why do Japanese Firms Invest in Catalonia?, ” (単), Association for Contemporary Iberian Studies 36th Conference, September 9th, 2013, Universidade Católica Portuguesa, Portugal.
- ・「スペインの直接投資と労働市場」(単), 南欧カトリシズムの変容と福祉ビジネスの展開に関する地域間比較研究会, 2014年2月16日, 京都大学
- ・“ Euro Crisis and Foreign Direct Investment in Spain: a Japanese perspective, ” (単), International Studies Association Annual Convention Toronto 2014, March 28th, 2014, Hilton Toronto, Canada.

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・都市再生整備計画事業等評価委員会委員, 2011年12月1日～2013年11月30日。
- ・長崎県開発審査会委員, 2012年9月1日～2014年8月31日。
- ・長崎市住民基本台帳ネットワークシステム管理及び運用監視委員会委員, 2013年2月1日～2015年1月31日。
- ・長崎県建築審査会委員, 2013年9月1日～2015年8月31日。

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎県高大連携事業』, 「国際貿易を考える」, 2013年11月12日, 長崎県立対馬高校。

西村 宣彦

[学術・研究活動]

<学術研究交流(学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む)>

- ・「生産性意識の見える化システム構築のための企画、調査、分析」、共同研究、公益財団法人 北九州産業学術推進機構、2013年9月～2014年3月。
- ・「大型受注品型モノづくりにおける生産性向上に関する研究」、共同研究、三菱重工業株式会社、2013年4月～2014年3月。

[学外活動]

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「長崎経営者塾」、長崎県産業労働部、2013年9月～2014年1月、長崎商工会議所。
- ・「長崎地域イノベーション戦略支援プログラム ハイブリッド人材育成講座」、文部科学省、2013年4月～2014年3月、長崎大学経済学部。

林 徹

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「能力と企業組織」(単)、長崎大学経済学会『経営と経済』、第93巻第1・2合併号、2013年9月、49-67頁。
- ・「感情労働と二要因理論」(単)、長崎大学経済学会『経営と経済』、第93巻第3号、2013年12月、1-19頁。

<学術賞の受賞>

- ・第10回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール奨励賞(小論文部門)(単)、「MONOPOLY(ゲーム)によるアクティブラーニング」、金融広報中央委員会、2013年12月27日。

<学会発表>

- ・「希求水準の探究」(単)、経営学史学会第21回全国大会、2013年5月18日、近畿大学。
- ・「希求水準の規定要因」(単)、日本経営学会第87回全国大会、2013年9月5日、関西学院大学。

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『出前講義』平成25年度キャリアガイダンス「夢の架け橋」,「現役学生の紹介,学部・学科の違い,二要因理論」,2013年7月19日,熊本県立第一高等学校。
- ・『高大連携授業』,出前講義(長崎北高大セミナー),「現役学生の紹介,学部・学科の違い,二要因理論」,2013年10月10日,長崎県立長崎北高等学校。
- ・『高大連携授業』,出前講義(大学セミナー),「現役学生の紹介,学部・学科の違い,二要因理論」,2013年10月12日,長崎県立西陵高等学校。
- ・『出前講義』「ジョイントセミナー」,「現役学生の紹介,学部・学科の違い,二要因理論」,2013年10月30日,佐賀県立鳥栖高等学校。

<国,県,市町村,商工会議所,その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・厚生労働省,長崎地方最低賃金審議会,公益代表委員,2013年4月-2015年3月。
- ・一般財団法人クリーンながさき,理事,2015年3月まで(設立時より重任)。

林川 美由樹

[学術・研究活動]

<論文>

- ・林川美由樹(単著)「共創するディスクロージャー 投資家ニーズを満たす新型ディスクロージャーの可能性」『産業経理』第73巻第1号,産業経理協会,2013年4月。

<科研費(採択のみ)>

- ・科学研究費若手研究(B)課題番号:23730433「非財務情報の任意開示に関する経営者行動分析」(単独

研究), H23-25年度。

深浦 厚之

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“ワークライフバランスへの第一歩”, 月刊中央会 (Monthly Nagasaki Chuokai), 第668巻 7頁 - 11頁, 2014年01月
- ・“The guideline system of the Japanese minimum wage law and the regional economy - Does it have a statistical validity?”, The Joint Journal of the National Universities in Kyusyu. Education and Humanities, Vol.7, No.1. pp.1-pp.20, 2013年10月
- ・“Are Workers in Nagasaki Over-Working without Enough Reward?”, Keiei to Keizai, 93巻1/2号267頁-286頁, 2013年09月

<学会報告等>

- ・「交換手段の選択：貨幣経済の基礎」(九州産業大学関根順一教授) コメント, 日本応用経済学会全国大会, 2013年06月
- ・九州経済学会レフリー (平成23年度)
- ・応用経済学会レフリー (平成23年度)

<外部競争的資金(採択のみ)>

- ・公益財団かんぼ財団調査研究助成 (平成23年～平成24年度)

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・九州経済学会理事・編集委員

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎地方最低賃金審議会・委員
- ・長崎市雇用問題審議会・会長 (平成23年度まで)
- ・長崎地域ジョブカード運営本部・本部長
- ・株式会社テレビ長崎番組審議委員

福澤 勝彦

[学術・研究活動]

<科研費(採択のみ)>

- ・19世紀英米児童文学および現代日本の児童文学からの職業および労働観形成の研究, 挑戦的萌芽, 2012年4月～2015年3月(代表)
- ・ネットワーク分析手法による地域間比較可能な総合的社会構築の研究, 基盤研究(B), 2011年4月～2015年3月,(分担)代表丸山幸宏
- ・「広域行政化による労働配分ショック増幅効果とミクロ構造分析」基盤研究(C), 2009年～2014年,(分担)代表藤田渉

<学会発表>

- ・『輸入制約構造と輸出誘発輸入から測る産業構造の変化』藤田渉・福澤勝彦, 九州経済学会第63回大会, 平成25年12月7日, 於大分大学

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本応用経済学会理事, 継続中

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市行政改革審議会委員 継続中
- ・長崎県労働委員会委員(公益委員・会長代理) 継続中

- ・長崎行政評価事務所，行政懇談会構成委員，継続中
- ・長崎労働審議会（公益委員・会長）継続中
- ・長崎保護司選考会委員 継続中
- <公開講座・市民講座>
- ・長崎市北公民館 茶の間の経済学「ブラック企業とは何だろうか」，2013年5月25日（土）
- ・長崎大学公開講座「わが国のグローバル人材育成における大学の使命：経済学部の取り組み」コーディネーター，2013年6月1日より毎週土曜日，4回
- ・長崎日大高校「キャリア教育講座」，経済学部で学ぶ事 - 経済学，経営学，法学，2013年9月21日（土）
- ・福岡県立三池高校出前講義「経済学部で学ぶとは」，2013年11月7日（木）

藤田 泰昌

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Comparing QCA Methods for Exploring Conjunctural Causation - From the Perspective of Type I and Type II Errors - ”(単)，『経営と経済』第93巻第1・2合併号，2013年9月。
- ・「グローバル経済化：3つのトリレンマからのアプローチ」(単)，吉川元・首藤もと子・六鹿茂夫・望月康恵編『グローバル・ガバナンス論』法律文化社，第1章，2014年2月。

<報告書>

- ・『アジア・太平洋価値観国際比較調査 - 文化多様体の統計科学的解析 シンガポール2012調査報告書』(共)，統計数理研究所調査研究レポート No.111，2013年7月。

<学会発表>

- ・「多言語社会での社会調査に関する一考察：アジア・太平洋価値観国際比較調査シンガポール2012を事例に」(単)，日本行動計量学会大会，2013年9月4日，東邦大学。
- ・“Transformation of Environmental NGOs in Japan ”(単)，East Asian Sociologists Network 11th Annual Conference，2013年10月26日，Seoul, Korea.

藤田 涉

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「貿易構造の変化による産業構造への影響分析 - 輸出誘発輸入と輸入制約耐性から測る空洞化の進捗 - 」(単)，『経営と経済』第93巻，1 - 2号，pp121-200，2013年9月。

<科研費（採択のみ）>

- ・「広域行政圏化による労働再配分ショック増幅効果とミクロ経済的構造分析」(共，代表者)，平成21～25年度。
- ・「ネットワーク分析手法による地域間比較可能な総合的社会指標構築の研究」(共)，平成23～27年度。
- ・「19世紀英米児童文学および現代日本の児童文学からの職業および労働観形成の研究」(共)，平成24～26年度。

<学会発表>

- ・「輸入制約構造と輸出誘発輸入から測る産業構造の変化」(共)，九州経済学会第63回大会，2013年12月7日，大分大学経済学部。

[学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市建築審査会，会長，平成23年6月～平成25年5月。
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）ピアレビュー，平成25年3月～平成26年3月。

古村 由美子

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・ Remedying negative stereotypes through identifying the origins of stereotypes: From semantic or affective learning? (単著) In S. Houghton, Y. Furumura, M. Lebedko, & L. Song (eds.), *Developing critical cultural awareness: Managing stereotypes in intercultural (language) education*. Newcastle: Cambridge Scholars Publishing, 2013.09
- ・ *Developing critical cultural awareness: Managing stereotypes in intercultural (language) education*. (共編) Newcastle: Cambridge Scholars Publishing, Houghton, S., Furumura, Y., Lebedko, M. & Song L. 2013.09

< 科研費 (採択のみ) >

- ・ 平成24年度科学研究費基盤研究C「海外に興味を持たせ国際化推進を支援する教育方法の提案」(研究代表者), 平成24年度~26年度

< 学会発表 >

- ・ *Computer-Mediated Communication between Chinese and Japanese Students* (単), The 19th International Conference of the International Association for Intercultural Communication Studies (IAICS) 2013.10.03, Far Eastern Federal University, Vladivostok, Russian Federation.
- ・ *The effects of topics on the development of 'Critical Cultural Awareness' in intercultural communication using the ICC Forum: Chat, PPT presentation, and movies exchanged by Japanese and non-Japanese students* (共), EUROCALL 2013, 2013.09.11, University of Evora, Portugal.
- ・ *The impact of study-abroad on students' attitude and knowledge as well as English proficiency* (単), The 52nd JACET International Convention 2013, 2013.08.31, Kyoto University.
- ・ *The report on Computer Mediated Communication with foreign students: Intercultural Communication Forum* (単), World CALL 2013, 2013.07.12, Glasgow, UK.
- ・ 「フォーラムサイトを活用したコミュニケーション活動について: 国際化推進を目的として」(単), 第43回(2013年度)外国語教育メディア学会九州・沖縄支部研究大会, 2013.06.08, 西南学院大学。

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・ *International Association for Intercultural Communication Studies (IAICS)*, 紀要論文査読委員, 平成21年10月~未定
- ・ 『グローバル人材育成教育学会紀要』, 編集委員, 査読委員, 平成25年9月~未定

< 学会などにおける委員としての活動 >

- ・ 外国語教育メディア学会 (LET), 九州沖縄支部運営委員・評議員, 学会運営, 平成21年4月~未定
- ・ 外国語教育メディア学会 (LET), 九州沖縄支部メルマガ委員, メルマガ編集, 平成21年6月~平成28年3月
- ・ 大学英語教育学会 (JACET), 九州沖縄支部研究企画委員, 学会運営, 平成22年4月~未定

星野 光秀

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・ 『統計でみる日本 2014』(共著), 日本統計協会, 2014年3月。

< 論文 >

- ・ 「Relationship between Entrepreneurial Indicators among Innovation-Driven Economies and Its Implications for Japan」(単著), 『Journal of Business and Economics, Nagasaki University』93-3, 2013年12月。

< 研究ノート >

- ・「Entrepreneurship Characteristics of Japan : Comparison among Innovation-Driven Economies (単著), 『Annual Review of Economics, Nagasaki University』 29, 2013年 6月。

丸山 真純

[学術・研究活動]

< 科研費 (採択のみ) >

- ・「批判的コミュニケーション教育としての英語教育実践法の開発 (基盤C)」(共, 研究分担者), 平成24 ~ 26年度。

< 学会発表 >

- ・「G-TELP レベル 3 による TOEIC スコアの予測について」(共), 日本大学英語教育学会 (JACET), 2013年 8月30日, 京都大学。

[学外活動]

< 学会などにおける委員としての活動 >

- ・日本コミュニケーション学会, 企画担当理事, 2年。
- ・日本コミュニケーション学会九州支部, 事務局長, 2年。

丸山 幸宏

[学術・研究活動]

< 科研費 (採択のみ) >

- ・「ネットワーク分析手法による地域間比較可能な総合的社会指標構築の研究」(共), 基盤研究 B, 2011年 4月 ~ 2016年 3月。

< 学術研究講演 (大学, 学会, 研究機関等) >

- ・「非決定性逐次決定過程による強表現について」, 自動制御連合講演会2013, 2013年11月16日, 新潟大学工学部。

< 学会発表 >

- ・「Strong representation of a non-deterministic discrete decision process by a non-deterministic monotone sequential decision process」(単), 26th European Conference on Operational Research, 2013年 7月 2日, イタリア, ローマ。

[学外活動]

< 学会などにおける委員としての活動 >

- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会, 九州支部, 支部長, 任期: 2014年 3月 ~ 2016年 2月

< 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >

- ・公益財団法人田中奨学育成基金評議員会, 評議員。

村田 省三

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・「コミットメントゲームの均衡と利潤関数の臨界点」(単), 『経営と経済』 第93巻第 4号, 2014年 3月

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・『応用経済学研究』, 編集委員, 2009年10月 ~ 現在

< 学会などにおける委員としての活動 >

- ・日本応用経済学会, 理事, 2006年 4月 ~ 現在
- ・日本経済政策学会, 理事, 2013年 4月 ~ 現在
- ・九州経済学会, (学会誌) レフェリー

森保 洋

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“ The Role of Algorithmic Trading in Stock Liquidity: Evidence from Tokyo Stock Exchange, ”(共同), *Proceedings of FMA Asia 2013*, April, 2013
- ・“ Mass media effects on stock market liquidity: Television broadcasting evidence from Japan, ”(共同), *Proceedings of Asian Financial Association 2013 Annual Conference*, July, 2013

<科研費(採択のみ)>

- ・「超高速超高頻度データベースを用いた大規模金融データ分析」(共同), 2011~2013年度
- ・「なぜコーポレート・ガバナンスは重要なのか? 経営者交代・配当・事業再構築の実証分析」(共同), 2011~2013年度

<学術賞の受賞>

- ・Asian Investment Management Research Prize 2013 (共同), CFA Institute, 2013年4月18日

<学会発表>

- ・“ The Role of Algorithmic Trading in Stock Liquidity: Evidence from Tokyo Stock Exchange, ”(共同), *FMA Asia 2013*, April 13th, 2013, Fudan University, Shanghai, China.
- ・“ Mass media effects on stock market liquidity: Television broadcasting evidence from Japan, ”(共同), 日本ファイナンス学会第20回大会, 2013年6月1日, 武蔵大学
- ・“ Mass media effects on stock market liquidity: Television broadcasting evidence from Japan, ”(共同), 日本経済学会2013年度春期大会, 2013年6月22日, 富山大学
- ・“ Mass media effects on stock market liquidity: Television broadcasting evidence from Japan, ”(共同), *Asian Financial Association 2013 Annual Conference*, July 17th, 2013, Nanchang, Jiangxi, China

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・生活経済学会, 理事, 2013~2014年度
- ・九州経済学会, 理事, 2013~2014年度

山口 聖

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・「自社株買いのタイミング仮説の検証」(単), 日本経営財務研究学会, 2013年10月6日, 兵庫県立大学。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本経営財務研究学会, 西日本部会幹事, 2013年10月~2016年9月。

山口 純哉

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「東日本大震災からの地域経済復興にかかる水産加工業の課題 - 宮城県気仙沼市を事例に - 」(単), 『長崎大学経済学部研究年報』第29巻, 平成25年6月。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市市民力推進委員会, 委員長, 平成20年4月~。
- ・長崎市(仮称)自治基本条例検討懇話会, 座長, 平成25年4月~平成26年3月。
- ・長崎市自治基本条例検討委員会, 委員長, 平成26年3月~。
- ・島原市行政評価委員会, 委員長, 平成22年4月~。

- ・大村市行政評価外部評価委員会，委員長，平成22年4月～。
- ・大村市中小企業振興会議，会長，平成26年3月～。
- <報告書（国，県，市町村，企業等からの依頼による）>
 - ・『長崎がんばらんば国体に係る受け入れ体制整備及び経済効果にかかる調査研究』報告書』（単），長崎市，平成25年10月。
 - ・『平成25年度福祉商業F S事業報告書』（単），西海市商工会，平成26年2月。
 - ・『平成25年度長崎市まちなか商業人材サポート事業報告書』（単），長崎市，平成26年3月。
 - ・『平成25年度NPO法人活動実態調査報告書』（単），県民ボランティア活動支援センター，平成26年3月。
- <講演会（社会的要請に基づく）>
 - ・『消費税率引き上げと長崎経済』，長崎ロータリークラブ，『長崎ロータリークラブ第1例会』，平成26年4月4日，ホテルニュー長崎。
 - ・『長崎県における新しい地域運営の枠組み構築に向けた課題』，長崎県，『長崎県新しい公共支援事業成果報告会』，平成25年8月7日，諫早市立図書館。
 - ・『長崎県波佐見町における波佐見焼のブランド化の取組』，兵庫県自治研修所，『管理職政策づくり合同研修』，平成25年9月11日，兵庫県自治研修所。
 - ・『このビジネスでまちを元気に！～商工会が目指すところ～』，西海市商工会，『地域づくりシンポジウム』，平成26年2月13日，西彼農村環境改善センター。
 - ・『市民協働を推進するために部課長の皆さんが知っておくべきこと・取り組むべきこと』，大村市，『大村市市民協働に関する職員研修会（部課長対象）』，平成26年2月21日，大村市役所。
 - ・『ソーシャルビジネスで働くということ』，九州経済産業局『九州ソーシャルビジネスセミナー』，平成26年3月18日，福岡電気ビル共創館。
- <公開講座・市民講座>
 - ・『長崎市立北公民館春の講座茶の間の経済学』，「東日本大震災から2年を経た被災地の現状と課題」，平成25年4月27日，長崎市立北公民館。
 - ・『長崎市立北公民館春の講座茶の間の経済学』，「消費税率引き上げと地域経済」，平成25年5月11日，長崎市立北公民館。
 - ・『長崎市立北公民館秋の講座茶の間の経済学』，「先進事例に見る商店街の将来展望」，平成25年10月12日，長崎市立北公民館。
 - ・『長崎市立北公民館秋の講座茶の間の経済学』，「自治基本条例が目指すこと - 長崎市における現在の検討状況と課題 - 」，平成25年11月9日，長崎市立北公民館。

吉田 省三

[学術・研究活動]

<著書>

『イタリアを知るための62章【第2版】』（共），明石書店，2013年6月。

<資料>

『企業レーテ契約と小企業』（単），『経営と経済』，2014年3月。

[学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・公正取引委員会独占禁止政策協力委員，委員，2013年4月1日 - 2014年3月31日。
- ・長崎県弁護士会懲戒委員会，委員，2014年3月1日 - 2016年2月29日。
- ・雲仙市入札監視委員会，委員，2013年5月28日 - 2015年5月27日。
- ・長崎市入札監視委員会，委員，2012年4月1日 - 2014年3月31日。
- ・対馬市入札監視委員会，委員長，2013年8月1日 - 2015年7月31日。

<講演会（社会的要請に基づく）>

・『憲法を活かした長崎市政を』，くらしと地域を考える長崎市民の会『市民のつどい 2013』，2013年6月

16日，長崎県勤労福祉会館。

吉田 高文

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「中小企業の事業承継問題と企業評価」(単著)，日本経営学会編『新しい資本主義と企業経営』経営学論集第83集，平成25年9月。